

いつまで我慢すればいいのか！



超低額回答示す 社員のみに犠牲を強いるのは許せない



No. 2595
2010年12月10日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙



貨物会社の姿勢を糾弾する阿部分会長（左）

宮城総鉄門前に約80名の組合員が結集する中、集会は地本中島副委員長司会で行われた。

地方本部を代表し橋本委員長は、「貨物会社は『社員の処遇について改善すること』は経営者としての責任」と言い、上半期の黒字経営を受けても、下期の先行き不透明を理由に超低額回答を示した。貨物会社の経営

経営責任を果たさない姿勢を糾弾

11月19日、JR貨物会社は、10年度年末手当の支払いに関する申し入れ（闘争第5号）に対し、基準内賃金の1・62ヶ月分という、超低額回答を示した。

「生活改善は期末手当で」という、社員家族の切実な声、願いに背を向け踏みこむ回答に対し、組合は席上強く抗議するとともに、各級機関に対し抗議行動を指示。

地本内においても11月24日、宮城貨物総鉄門前にいて「再検討・再回答を求める抗議集会」を開催するなど各地で抗議行動を展開した。

安易な経費節減策に反対

続いて東北貨物協議会岩井議長は、この間の交渉と闘いの経過を説明。その骨子は、①10月21日の第1回交渉で本部は要求内容が如何に切実であるかを訴えた。

②11月5日の第2回交渉で会社は災害対応や景気刺激策の打ち切りなど厳しさを前面に出すも、上期の営業黒字を受けて、管理職社員と役員報酬カットの解除やカット率の引き下げを明らかにした。

また定期昇給の先送り分の年末手当での還元は明確にせず先送り。

③11月11日、第3回交渉。中間決算で2億円の純利益を出しており、社員の要求に応えよと迫ったが、会社は下期の先行き不透明さを強調。「1・5ヶ月」が精一杯の内容。

回答予定日の11月19日、20時過ぎ「1・62ヶ月、12月10日支払い」、昇級先送り分は「今年末手当での整理は困難」と回答。

④東北貨物協は役員会の中で「各々職場集会の開催」「現場申し入れ」「本社・支社への要請FAXを創意工夫して取り組む」事を確認し実践。

各分會では個人名での要請ハガキ・ジャンボハガキ等精一杯取り組んだ。

最後に岩井議長は、「社員の人件費削減にのみ頼った安易な経費節減策に反対し、国労提言実現のため、今後も粘り強い闘いを展開する」と決意を述べた。

役員・管理者だけの優遇は許さない

続いて、宮城県支部秋山委員長、仙総支部庄司委員長、自動車支部北山副委員長より、それぞれ決意表明を受けた。また貨物宮城阿部分会長は、「貨物会社経営陣は自らの待遇のみを改善し、我々に犠牲を強いている。断じて許すことは出来ない。今後も団結し闘い

11・5 団交 設備メンテ改善（土・建・機）
11・8 地方代表者会議
11・10 第2回執行委員会
11・11 貨物団交
11・12 団交 設備メンテ改善（保線）
11・12 団交 設備メンテ改善（整理）
11・16 団交 ダイヤ改正
11・17 支部・分会代表者会議
11・18 地方書記長会議

個人のつながりを機関の取り組みへ

地方本部は11月23日、こくろう会館において、組織対策会議を開催した。

組織の強化・拡大の闘いは、国労の最重要課題の一つ。参加した各級機関の代表者は、東日本本部ならびに地方本部組織部が行った、組織の将来を見据えた問題提起に対して真摯な討論を行った。

他労組一括加入の打開を図る

東日本本部提起

東日本本部として、武田幸喜組織部長から問題提起が行われた。

同部長は、東日本組織の組織人員と直近の組織加入状況として、東日本大会以降5名、一括和解以降88名の国労加入があったと報告。

また拡大があった分會に学び教訓化が必要であると述べている機関の具体的取り組みを紹介した。

現在、組合員の約500名が主任職、助役の合格と発令もあり、会社の動きとして、試験・配転の扱いでは、国労差別から個人管理に変化が見られると分析。

今後の取り組みとして、一番重要なことは分會組織の活性化であり、会社施設

仙台地本提起

地方本部として曾我組織部長は以下の提起を行った。

◆若い世代に仕事の継承も大切だが、国労運動の継承も必要。組織拡大は避けて通れない道。

◆若手は試験に合格しても低賃金。現在の賃金体系では主任であっても低賃金に据え置かれる。それはベアがないからであり、ベアを勝ち取ることに賃金を上げるということを話していく必要がある。

◆機関会議を施設利用で行い、活性化を図ること。個人のつながりは大切だが、機関として議論することが必要。困難な場合は地本が入るのを相談を。

◆駅・運輸区間での交流会の開催。新たなライフサイクルとして駅、車掌、運転士と異動があり、交流を発展させてもらいたい。

◆エルダー社員の組織化。分會の声掛けと意欲統一を。

11・23 組織対策会議
11・24 貨物年末手当低額回答抗議集会（宮・福）
11・24 第1回春闘事務局会議
11・24 団交 ダイヤ改正
11・24 団交 ダイヤ改正（整理）
11・25 国労会館地方部長会議
11・25 地方業務部長会議
11・25 貨物年末手当低額回答抗議集会（郡工）
11・26 活動家交流集会・東北協議会総会
11・27 28

十イスショット!?

優勝は中鉢悟氏

10月29日、地方本部は「地本委員長杯ゴルフ大会」を仙台南ゴルフ倶楽部で開催した。39名の組合員が参加した今年の大会は、前日の低気圧と翌日の台風接近という間隙を縫い、秋晴れでのラウンドに。参加者は「今年こそ」と優勝めざして腕を競い合った。

ラウンド前の開会式では、大村実行委員長（仙台北保線区分会）から「長年の闘いであるJR不採用事件の政治解決を迎えた。組合員皆さんのお陰、今後は闘争団チャリティーの目的から、組織拡大の舞台に。怪我なく一日楽しもう」とあいさつが行われた。

楽しい駆け引きが繰り広げられた。お待ちかねの表彰式会場では、豪華商品を前に39位から順位が発表され、上位に近づくにつれ一喜一憂の表情が浮かびあがった。



ご満悦の中鉢氏（右）と大村実行委員長

続出する好打に歓声

ゲームでは、ドラコン、ニアピン勝負に歓喜の声が上がり、バーディーショットはお手のもの、池ポチャあり、OBあり、広いコースをわざわざ縦横無尽に駆け回ってしまう組合員の姿があり、18ホールの厳しくも

春闘事務局を立上げ

地方本部は11月24日、第一回2011春闘事務局会議を開催し、来春闘に向けた取組みを開始した。

会議で確認された事項は、

- ① 昨年の総括を基に、今年の仙台北総行動の内容をどうするのか、各支部において検討し、次回の事務局会議に持ち寄り決定する。
- ② 次回以降の事務局会議の日程は以下。

- 第二回 12月19日（日）13時～
- 第三回 1月20日（木）18時45分～
- 第四回 2月24日（木）18時45分～

総行動の目的

- ① 大巾賃上げ獲得のための取組む
- ② 仕事や職場環境および生活の見直しと、それらの改善の取組む
- ③ 上記①と②取組むを通して、組織の活性化と強化拡大を目指す
- ④ 国労の取組むを内外にアピールする
- ⑤ 春闘を社会へアピールする

【利】

優勝した小牛田運輸区分会の中鉢悟氏は、優勝カップと持ちきれないほどの豪華商品（ベスグロ・ドラコン等）を手にし、会場からは万雷の拍手が送られた。表彰式を終え、来年もまた仲間を一人でも多く誘い、楽しいゴルフ大会にしよう」と確認しあった。【元】

ベストテン発表

1位	中鉢 悟	小牛田運輸区
2位	渡辺 純一	郡山保線区
3位	佐藤 義彦	仙台北電車区
4位	山本 善昭	仙宮運輸区
5位	谷村 俊則	仙台北信通区
6位	阿部 貴弘	郡山駅連
7位	鈴木 弘文	仙台北信通区
8位	大槻 政幸	仙宮運輸区
9位	熊谷 義昭	福島連合（保線）
10位	横山 静夫	仙総（運輸）

宮城から沖縄問題を訴える

11月21日、仙台北国際センターにおいて、写真家の後藤東陽さんらが呼びかけ人となって「憲法9条と沖縄」宮城集会2010が、開催された。

国労からは、地方本部、宮城県支部、仙総支部から約20名が参加した。第一部では、ピアニスト・作編曲家である稲垣達也さんのピアノ演奏があり、音楽を通して平和を訴えることに対し、一同は深い感銘を受けた。



仙台市内を進行し、「護憲・平和」を訴える

東陽さんが呼びかけ人会議を代表して、力強くあいさつ。続いて早稲田大学法学部教授の水島朝穂から、「オキナワと憲法 その原点と現点」というテーマで講演が行われた。その要旨は、①日米安保は、安全保障のためではなく、米軍が世界各地に飛び出すために沖縄に米軍基地が置かれている。②戦争は意図的に起こされており、米軍基地が各国に

各支部が大会

宮城県支部

宮城県支部は11月6日、第52回定期支部大会を開催し、以下の執行体制を確立した。

執行委員長 秋山正浩（仙台北建築）
執行副委員長 八巻孝夫（仙・宮運輸区）
書記長 山田芳夫（岩沼駅連合）
執行委員 内田五郎（貨物宮城）
木藤昭弘（仙台北駅連）
宮本広美（宮城野電車区）
佐藤涼一（小牛田運輸区）
千葉祐悦（仙石線駅連）
村上正博（仙台北駅連）
加藤賢男（仙・宮運輸区）
婦人部長 三上敦子（仙台北病院）

山形県支部

山形県支部は11月13日、第25回定期支部大会を山形市内大手門パルズにて開催し、以下の執行体制を確立した。

執行委員長 原田好太郎（山形連合）
執行副委員長 堀内 勉（山形連合）
書記長 伊藤 雅（山形連合）
執行委員 田村孝一（新庄駅連合）
木村勝則（米沢連合）
鎌田 仁（新庄連合）
難波新一（山形連合）

福島県支部

福島県支部は11月13日、第51回定期支部大会を郡山市日和田公民館で開催し、以下の執行体制を確立した。

執行委員長 小松山広幸（郡山信通区）
執行副委員長 佐々木勝紀（福島地区）
堀口裕一（郡山信通区）
高橋 寛（若松地区）
書記長 佐藤正彦（郡山駅連合）
書記次長 山田明彦（福島地区）
村田与志一（福島建築）
執行委員 菊池尚一（郡山駅連合）

仙総支部

11月13日、こくろう会館において、第24会定期支部大会を開催し、以下の執行体制を確立した。

執行委員長 庄司 修（車体）
執行副委員長 阿部 春雄（運輸）
書記長 原子 清貴（台車）
執行委員 遠山 政孝（組立）
渡辺 一則（台車）
原田 靖（車体）
及川 正昭（台車）
山口 智（車体）